

# 使用電力を50%カット、高効率照明器具の販売を強化

## アイゼット

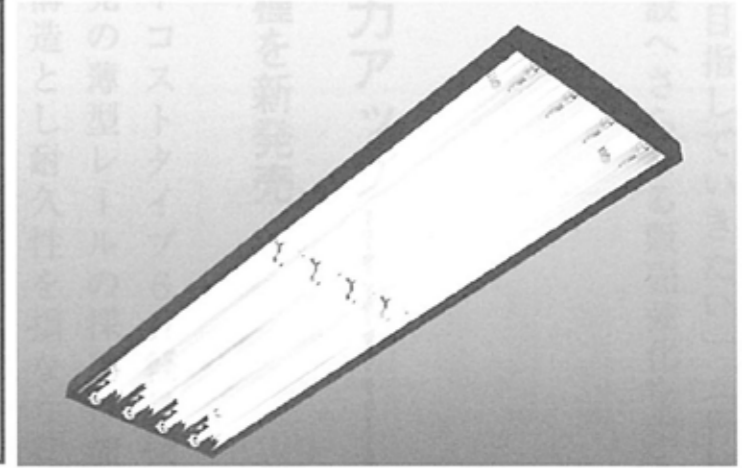
物流施設に節電対策、環境対策での効果をアピール



環境対策に取り組む  
富士港運・有明紙倉庫営業所

エネルギーの使用合理化など長年の環境対策に加え、昨年来の原発問題による電力不足、節電対策など、各企業があらゆる電力対策に本腰を

同営業所は、大王製紙の関東3基地のひとつとして大王製紙の紙製品、紙管、副資材などの入出庫、保管、配送業務を担当している。同営業所では数年来、環境対策を視野に省エネルギー機器の導入などを考えており、すでに他社で実績のあった省エネに有効な倉庫内照明器具のこのことを知り、本格的に検討を開始したという。当初はLEDライトなども候補にあがったが当時はかなり高価であったため、従来型の照明器具で従来



スーパーライト

入れる中、ESCO事業者の扶桑電通(児玉栄治社長)との協業で照明器具メーカーのアイゼット(林邦男社長)は、物流施設に対する高効率、省電力照明器具の販売に力を入れている。電力問題が長引く気配でもあり、節電対策と環境対策に効果的な照明器具として注目される。

「以前の照明器具の時から、作業時間外はこまめに照明を切るなど節電に努めていたが、照明器具を替えてから電力使用量がさらに削減でき、正直驚いている」と話すのは、一昨年アイゼットの「リライト」と「スーパーエコゼネラルライト(SEGII)」を導入した富士港運(中塚廣社長)有明紙倉庫営業所の星邦彦所長。「リライト」は、アイゼット独自の高性能反射板と高効率インバータにより、蛍光灯1灯で通常のFLR40ワツ型2灯分の照度を確保でき電力使用量を約50%カットできるといふ、アイゼットの主力製品。「SEGII」は、高性能反射板と高効率セラミックメタルハライド(SECC)ランプにより、360ワツで水銀灯700ワツと同等の照度を確保する高天井用吊り下げ型ランプ。



従来の照明器具(上)とスーパーライトの寿命比較

力エネルギー量は約36%減となり、使用エネルギーの削減に効果を発揮したという。「リライト」は従来の蛍光灯より蛍光管の本数が少ないが明るさは従来と比較してもまったく問題ない。むしろ今まで見えにくかった荷札などもハッキリ見えるようになり、作業効率も上がった(星所長)とその効果の大きさを実感している。

このほかアイゼットでは「リライト」シリーズで、4万5000時間の長寿命で約10年交換不要のランプを搭載、200ワツで水銀灯400ワツと同等の照度を誇る「スーパーリライト」など多彩なラインナップを揃える。

アイゼットの竹村信和・営業第一部長は「倉庫や物流センターなどの物流施設は高天井

の施設が多い。そういう施設ではランプ交換にも苦勞していると思う。「スーパーリライト」は省電力に加え、LEDも凌ぐ4万5000時間という長寿命のため、頻繁なランプ交換を必要とせず、今後高天井施設でのニーズが高まっていくのではないかと話している。

前年度は商業施設なども含め全体で約1万8000台の出荷台数で、このうち約4000台、40ほどの物流施設へ導入したという。「今年度は全体で約2万5000台の導入を目標としている。物流施設には約100社、8000台程度の普及を目指していきたい」(竹村部長)と、物流施設へさらなる販売強化を図るとしている。